

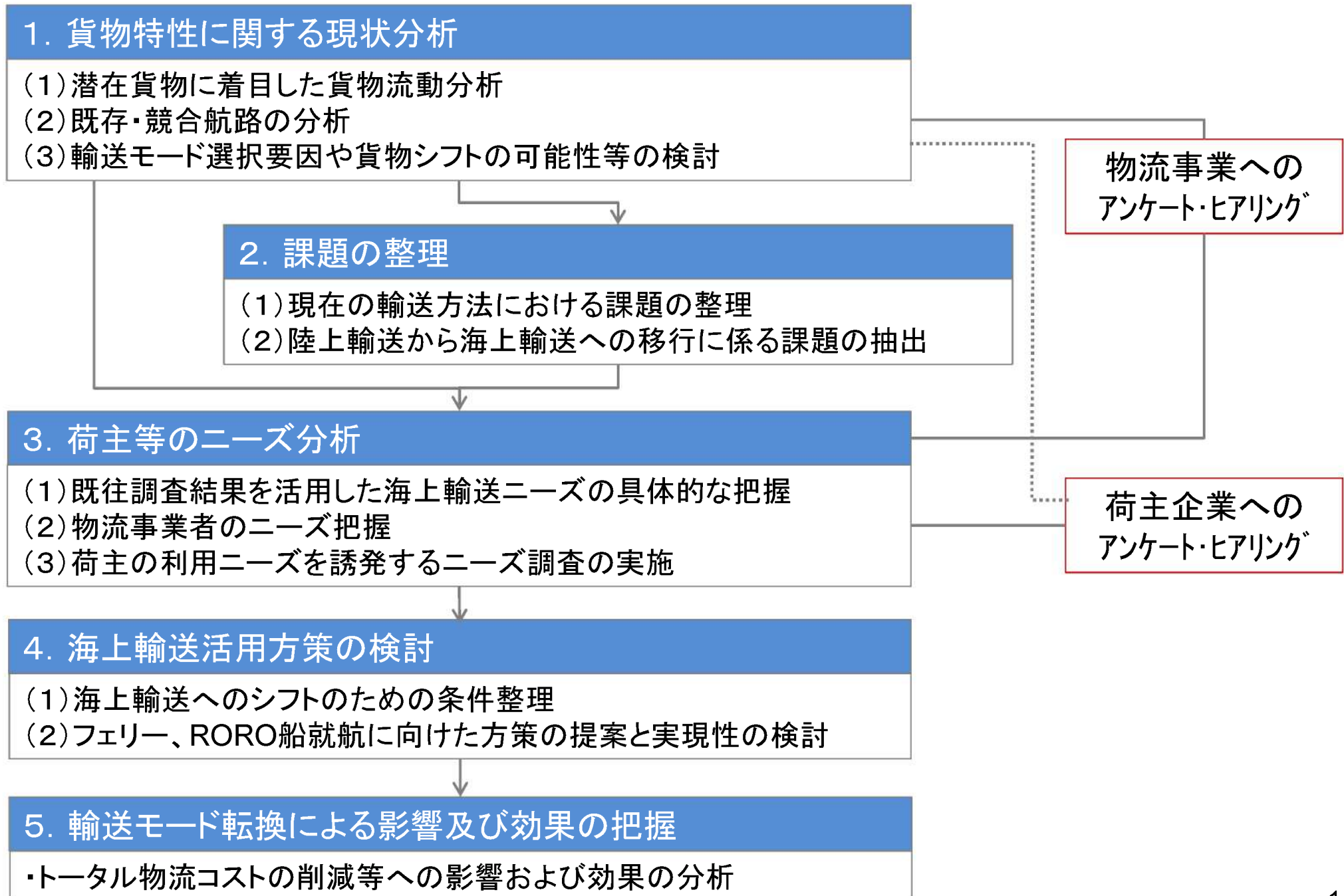
# 今年度の検討内容(物流基礎調査)

---

平成27年9月4日

中国地方整備局 港湾空港部

# 検討の概要(フロー)



## 1. 貨物特性に関する現状分析

- 境港を仕出・仕向港とし、陸上輸送からのシフト及び新たに海上輸送を検討する可能性がある貨物(潜在貨物)を掘り出すため、貨物特性に関する現状分析を行う。

### (1) 潜在貨物に着目した貨物流動分析

#### ① 境港を取り巻く現状の整理

- 背後圏経済の概況
- 道路ネットワークの整備状況

#### ② 背後圏の設定と統計データの整理

- 統計データ(物流センサス、内外貿ユニットロード`貨物流動調査等)の整理・分析
- 既往調査結果の整理・分析
- 中国地域の主要生産拠点、物流拠点の把握・整理

#### ③ 背後圏の地域別潜在貨物量の整理

### 潜在貨物に着目した広域背後圏の設定

- 現状分析にあたっては、潜在貨物をターゲットに、既往調査結果からニーズが確認されている(1次背後圏)とともに、新たな需要が想定される四国地方(瀬戸内海沿岸)や北部九州エリア(2次背後圏)を調査対象に加える。
- また、仕向・仕出地についても、北海道とともに日本海側の途中寄港地の背後圏(東北・北陸等)も対象とする。

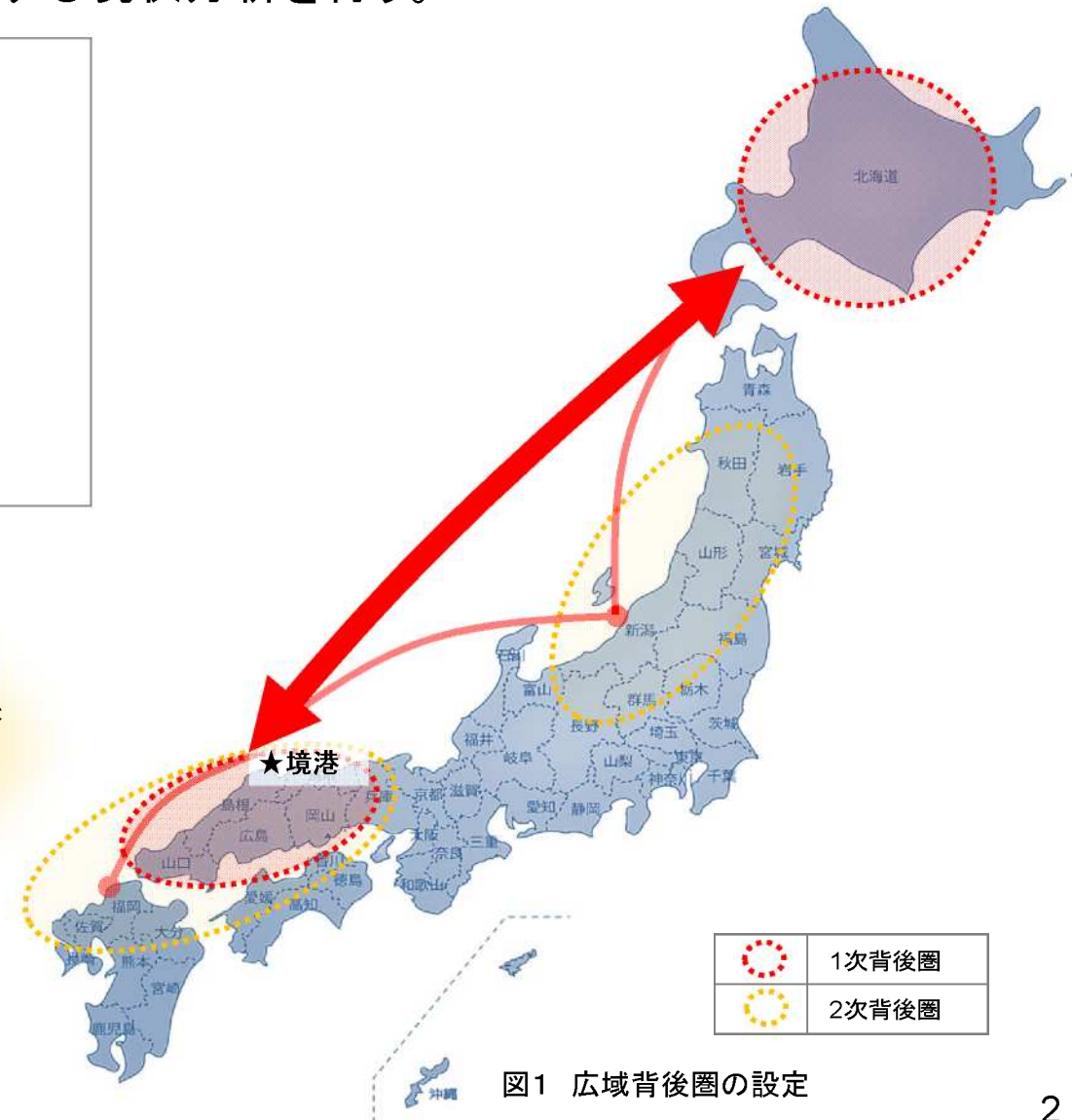


図1 広域背後圏の設定

## 1. 貨物特性に関する現状分析

### (2) 既存・競合航路の分析

#### ① 既存・競合航路の現状把握

・航路概要、投入船舶、サービス内容の整理

#### ② 統計データによる既存・競合航路の貨物流動状況の整理

・統計データ(内外貿ユニットロード貨物流動調査、港湾統計等)による既存航路の貨物流動状況の整理

#### ③ 船社ヒアリング

・運航船社へのヒアリングによる既存航路の貨物特性等の整理

#### ④ 北海道との国内航路の特徴の整理

### (3) 輸送モードの選択要因や貨物シフトの可能性の検討

#### ① 物流事業者へのアンケート・ヒアリング調査の実施

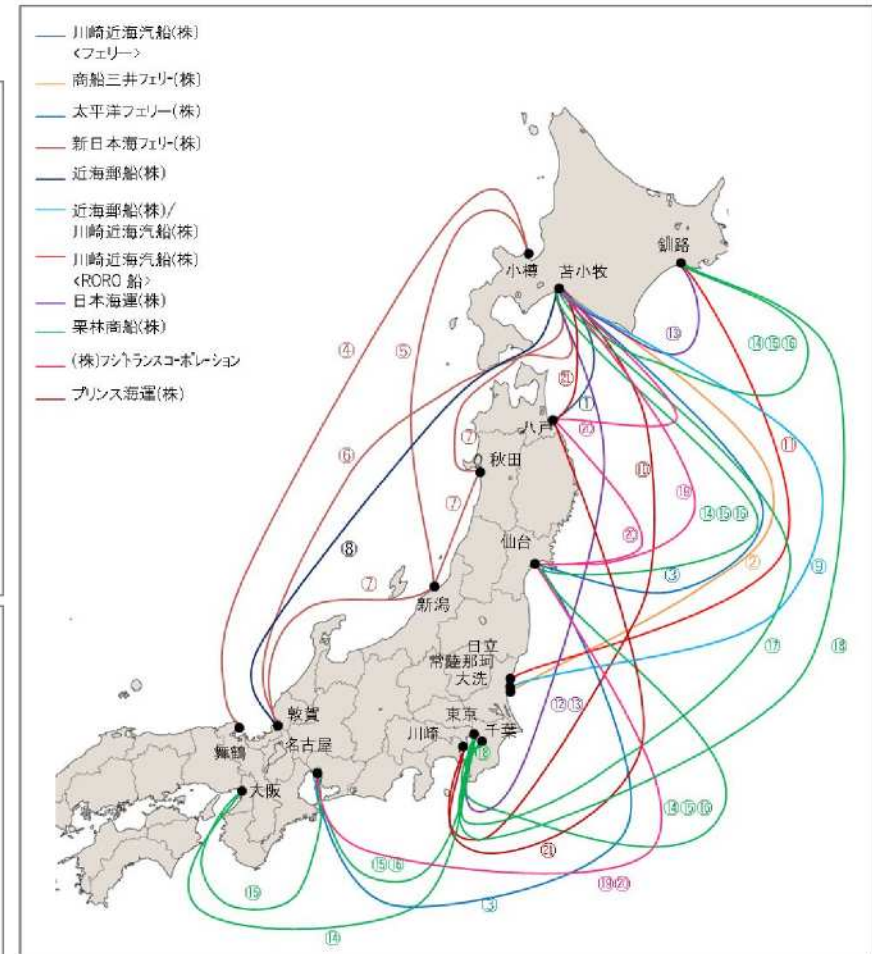
・中国圏域に営業・物流拠点を置く主要物流事業者を対象にアンケート・ヒアリング調査を実施

#### ② 内貿における船舶別輸送特性の整理

・既往調査結果、物流事業者へのアンケート結果等より船舶別輸送特性を整理。

#### ③ 輸送モードの選択要因、貨物シフト可能性の検討

・統計データ、既往調査結果、物流事業者へのアンケート・ヒアリング調査結果より、選択要因、シフト可能性を検討



資料:「海上定期便ガイド」、「フェリー旅客船ガイド」、各社ウェブサイトより作成

図2 本州～北海道間のフェリー・RORO既存航路

## 2. 課題の整理

- ・貨物特性の分析結果より、現在の輸送方法における課題の整理及び陸上輸送から海上輸送に移行するにあたっての課題の抽出を行う。



図3 課題となるシャーシの確保・運用



## 3. 荷主ニーズ等の分析

- 1、2より、境港を仕出・仕向港とした場合の潜在貨物の掘り出しを行い、新たな海上輸送航路就航のため、荷主等のニーズ分析を行う。

### (1) 既往調査結果を活用した海上輸送ニーズの具体的な把握

- ① 背後圏企業における北海道との輸送の現状整理
- ② 既往調査による輸送ルートの評価の整理
  - ・境港試験輸送ルートの評価(利用メリット、問題点等)の整理
- ③ 境港発着国内海上輸送ルートに関する具体的な輸送ニーズの整理
  - ・品目、発着地、荷姿・ロット等に応じた具体的な輸送ニーズの整理

### (2) 荷主のニーズを汲み取る物流事業者のニーズ把握

- ① 物流事業者へのアンケート調査
  - ・中国圏域に営業・物流拠点をおく主要物流事業者を対象にアンケート・ヒアリング調査を実施(※貨物特性分析と共に実施)
- ② 荷主ニーズの整理
  - ・物流事業者への調査結果をもとに、荷主ニーズを整理

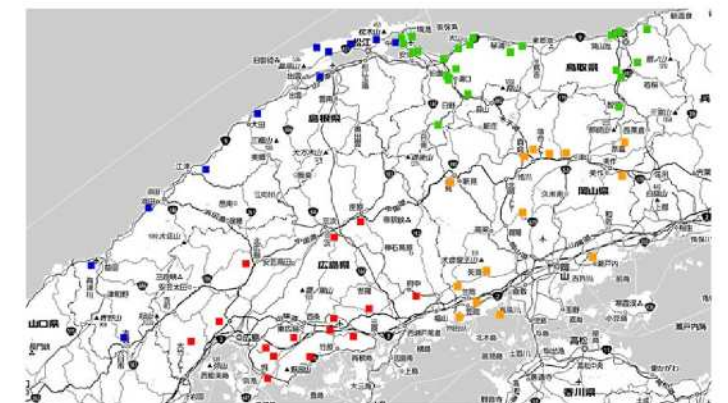
### (3) 荷主の利用ニーズを誘発するニーズ調査の実施

- ① 中国圏域の主要荷主企業の抽出
  - ・貨物特性分析結果、物流事業者アンケート結果等から主要荷主企業を抽出
- ② 境港海上航路活用イメージの整理
- ③ 荷主企業へのアンケート調査の実施
  - ・①で抽出した企業を対象にアンケート調査を実施し、国内輸送の現状や具体的利用ニーズを把握
  - ・②の活用イメージを提案し、利用意向を把握
- ④ 荷主企業の境港海上航路利用ニーズのまとめ



資料: 境港管理組合

図3 過年度試験輸送ルート(新潟寄港あり)



資料: 各県の工業団地・産業団地マップより作成

図4 中国地方の主要工業団地等の分布図

## ■アンケート調査計画

- 「1. 貨物特性に関する現状分析」および「3. 荷主等のニーズ分析」のため、物流事業者・荷主企業を対象とするアンケート調査を実施する。
- なお、有意回答企業に対してはヒアリング調査を実施し、個別に具体的な意向を把握する。

業種	物流事業者	荷主企業
目的	<p>境港を中心とした中国圏域～北海道等間の輸送特性や輸送ニーズの把握・分析、および輸送モードの選択要因の分析を目的にアンケートを実施する。</p> <p>また、物流事業者は荷主等の具体的な輸送ニーズを把握していることから、荷主サイドのニーズ等の把握を行う。</p>	<p>境港国内海上航路の潜在貨物を掘り出すため、荷主からみた物流の現状や課題の把握、境港国内海上航路の活用イメージに対する利用意向の把握を目的にアンケートを実施する。</p> <p>※アンケートにおいては、境港航路の具体的な活用イメージを提示し、利用意向の把握とともに、利用PRを図る。</p>
対象事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国圏域に営業・物流拠点を置く主要物流事業者（日本通運、福山通運、日立物流、ヤマトパッキングサービス、境港海陸運送等：支店・営業所単位）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背後圏分析から抽出された荷主企業</li> <li>境港背後圏企業</li> <li>物流事業者へのアンケート等から抽出した企業</li> </ul> <p>※既往調査結果等も活用し、対象企業を精査・拡充。</p>
調査項目（案）	<p>1) 貨物特性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内長距離輸送貨物の現状</li> <li>輸送方法選択の考え方・決定要因</li> <li>輸送効率化の取組み状況と課題</li> </ul> <p>2) 荷主等の輸送ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荷主企業の国内長距離輸送に関する要望</li> <li>境港国内海上航路の利用条件・課題</li> <li>流通プラットフォームへの要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内長距離輸送の利用の現状</li> <li>国内長距離輸送における課題</li> <li>境港国内海上航路の活用イメージに対する利用意向</li> <li>境港国内海上航路の利用上の課題</li> </ul>

## 4. 海上輸送活用方策の検討

- 1～3に基づき、海上輸送へのシフトのための条件整理及びフェリー、RORO船就航に向けた方策の提案と実現性の検討を行う。

### (1)海上輸送へのシフトのための条件整理

- ・検討結果に基づく、海上輸送へのシフトのための条件整理

### (2)フェリー、RORO船の就航に向けた方策の提案と実現性の検討

- ・方策の提案と実現性の検討(次の項目を含める)
  - ✓フェリー、RORO船での単車(無人)輸送の可能性
  - ✓小口貨物の混載によるフェリー、RORO船就航の可能性
  - ✓小口貨物取込みのための流通プラットフォームの事業モデルの提案と実現性の検討



図5 内航における単車(トラック)無人航走のイメージ

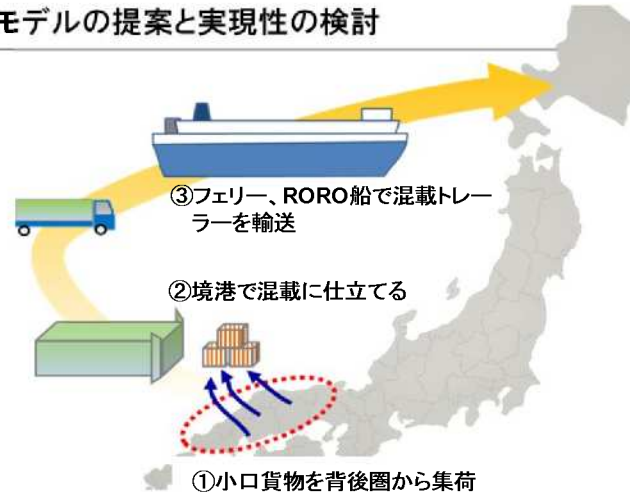


図6 小口混載貨物の国内海上輸送イメージ



	ルート	輸送モード	距離(km)
①大阪経由	境港～大阪港	トラック	286
	大阪港～苫小牧港	海上	1,337
②直航海上ルート	境港～苫小牧港	海上	1,036

図7 ルート比較

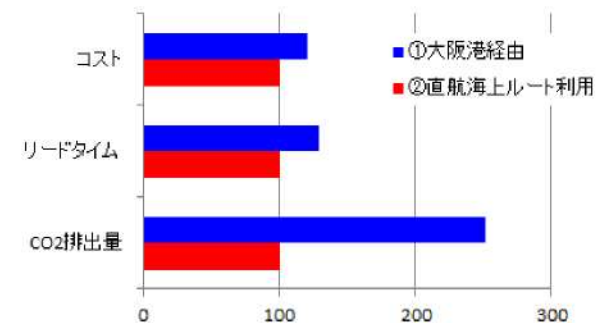


図8 効果分析イメージ

## 5. 輸送モード転換による影響及び効果

- 4で提案した方策について、トータル物流コスト、リードタイム削減、環境負荷低減等の効果分析を行う。